

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあおぞら単位2		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		2025年5月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		2025年5月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもは安心して通所している、清潔で心地よい空間が確保されている	スロープ設置や個別クールダウンスペースの確保、日々掃除を行うなど環境配慮	スペースの有効活用、死角やパーソナルスペースの確保、施設老朽化対応
2	子どもの特性に応じた支援を受けられている、職員の共感的対応がある	面談・アセスメントを元に個別支援計画を作成、チームでの情報共有・打ち合わせの実施	送迎時間帯の人員増加、スタッフの配置余裕確保、専門研修や情報共有の強化
3	個別支援計画が作成されている、計画に沿った支援や活動プログラムの工夫がされている	面談やアセスメントに基づいた活動プログラムの立案、自己選択の支援、個別・集団活動の組み合わせ	放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を理解・活用、計画の定期的な見直し

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが十分でない、死角やパーソナルスペースの確保が不十分	建物構造や利用人数の変動、体の大きい子どもへの配慮不足	スペースの有効活用、個別クールダウンスペースやパーソナルスペースの確保、施設老朽化対策
2	スタッフ数が不足しており、特に送迎時や突発的な対応が困難	人員計画が利用人数に追いついていない、PDCAや業務改善の理解不足	送迎時を含めたスタッフ増員、PDCAサイクルの浸透、職員研修や意見交換の機会拡充
3	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」が理解されていない	職員へのガイドライン教育や定期的なチェック不足	ガイドライン研修の実施、活動プログラムにガイドラインを反映、定期的な振り返りとモニタリング

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあおぞら単位2

公表日 \_\_\_\_\_

利用児童数 2025年4月1日 9人

回収数 9人

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	11%		22%	普段見ていないので不明です。 配慮してくれているとは思っています。 1日入居く利用する日があるようなので、それほど余裕があるようには思いません。 体の大きい利用者もいるのでスペースが十分か不安もある。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	78%			22%	普段見ていないので不明です。 配慮してくれているとは思っています。 どれくらいの人数のスタッフさんがいるかお聞きしていませんので不明。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	11%	11%	11%	普段見ていないので不明です。 配慮してくれているとは思っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67%	22%		11%	普段見ていないので不明です。 配慮してくれているとは思っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78%	11%		11%	利用回数が少ないため、理解していただくには難しい部分があると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	78%			22%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	89%			11%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	78%			22%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	89%			11%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89%	11%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33%	11%	11%	44%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	89%	11%				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33%	11%	22%	33%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	89%	11%			利用回数が少ないため、共有できない部分は仕方ないと考えます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	78%	11%		11%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22%		33%	44%		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	67%	11%		22%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	44%	11%	11%	33%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	78%	11%		11%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	56%		11%	33%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33%			67%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	56%			44%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	11%		22%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスあおぞら単位2						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	発達支援室は十分な利用定員に対して十分な広さを確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		国の人員配置基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。 スタッフが研修で不在の時も臨時のスタッフを配置する等工夫をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	児童がわかりやすい遊具の配置、活動時には玩具を片づけるなど視覚的にわかりやすくなるよう工夫しています。	施設のバリアフリー化ができていないので、必要な備品等を用意し、日々必要品の見直しを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室で対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		PDCAサイクルを心がけ、週に1回職員会議において現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		職員会議で意見交換を行い、検討・改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的に職員会議で意見交換を行い、検討・改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		第三者機関との連携ができていないので、第三者機関との連携を図り、外部評価を行ってもらうことで業務改善に取り組んでいきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		2025年3月に支援プログラムを作成し、ホームページにて公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		お子様に関わる職員が共通理解を図るため、会議を行って情報共有をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		会議での情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い支援計画を作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインの提供すべき支援に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポート方法を話し合えるよう努めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		様々なテーマで活動を設定しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		一人ひとりにフォーカスし、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		活動開始前にミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		活動終了後もミーティングを行い、利用者様の様子や支援の振り返りを行い、共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日々の支援について個別記録を徹底しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		必ず6ヶ月に1度モニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%		4つの基本活動 1自立支援と日常生活の充実のための活動、2創作活動、3地域交流の機会の提供、4余暇の提供、のうち主に1・2・4を組み合わせ活動を実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		活動の中で、自己選択や自己決定をする機会を多く取り入れています。 意思表示の機会を作り、お子さんに合わせた表示方法を支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		主治医や医療機関と連携し、利用者様の支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		送迎の際等に必ず学校との情報共有を行い、連絡調整等を適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			就学前の施設との連携ができていないので、情報共有や相互理解ができるよう積極的に連携を図り、情報共有を行うよう取り組んでいます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			卒業先への情報共有の機会が少なく、情報提供ができていないことが多いので、積極的に連携を図り、情報提供や共有ができるよう努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			児童発達センターと連携が行えていないので、助言や研修を受けられていないが、助言や研修を受ける機会を作れるよう連携へ向けた取り組みを行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%			児童クラブや児童館との交流はできていないので、地域のこどもたちと交流出来るようなイベント等の企画を行って、地域との交流にも取り組んでいます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			定期的に参加を行い、連携を行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			日々の送迎の際等に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			現在家族で参加できるプログラムがないので、家族で参加できるようなプログラムや研修会を企画、開催し、ご家族との情報共有の強化を図っていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			契約時に説明させていただいております。 また、不明な点は随時職員が説明できるように体制作りを行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			お子様と保護者様の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。 設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			支援計画書をお渡しする際に支援内容の説明を丁寧に行い、同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			6ヶ月に1回の面談を行うと共に、相談したいことがあれば面談日を設定しています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		場所の確保が難しく、保護者会の開催ができていないので、別途会場を設ける等を行い、保護者同士で交流できるイベントの開催に向けて取り組んでいます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付担当者は重要事項説明書に記載しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	20%	80%		HPやSNSでの情報発信は行っていなかったが、SNSを始めて少しずつ活動内容等の発信を行っています。さらにSNS等を活用して情報発信に取り組んでいます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報に記載された書類などは鍵付きのロッカーにて保管しています。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		言葉と共にサインを使用したり、見てわかりやすい視覚補助的教材を使うなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		地域住民を招待できるイベントが開催できていないので、地域住民を招待するイベントを企画、開催し、地域に開かれた事業運営を目指して取り組んでいます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		事故、災害、感染症などのマニュアルについて職員会議にて対応方法などの確認を行い、安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、連絡訓練の他、利用者様と共に室内での訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		利用開始の際、保護者様にフェイスシートに記入していただき、確認を行っています。また必要に応じて聞き取りも行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		医師の指示書に基づいておやつを提供を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20%	80%		口頭で情報共有をできていないため、口頭での説明に加え、書類の配布等を行うようにし、ご家族へ厳密に情報共有ができるよう取り組んでいます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		危険な事例があった場合、報告書に記載し、会議やSNSを通して職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		内部研修を行っています。日頃から支援の振り返りを行うよう心掛けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。		